

一般社団法人 日本トイレ協会会長 高橋志保彦
第32回全国トイレシンポジウム実行委員長 山本 耕平

第32回全国トイレシンポジウム

パブリックデザインとトイレ

— 公共空間の多様な利用と整備におけるトイレのあり方を考える —

残暑厳しき折、会員の皆様にはご活躍のことと拝察申し上げます。

今年の全国トイレシンポジウムは11月12日（土）に日本大学理工学部で開催いたします。「パブリックデザインとトイレ」～公共空間の多様な利用と整備におけるトイレのあり方を考える～をテーマに、それぞれの専門家の方々から貴重なご講演を頂くことになりました。

現時点では最終的な決定には至りませんが、今年の概要は次の通りです。

第32回全国トイレシンポジウム企画 プログラム

1. テーマ

「パブリックデザインとトイレ」

— 公共空間の多様な利用と整備におけるトイレのあり方を考える —

2. 趣旨

清潔で安全、快適な都市のインフラとして、トイレが重要であることは論を待ちません。日本のトイレは海外からの観光客から高く評価されていますが、商業施設やホテルなどの民間施設のトイレに比べて、公共スペースに設置されている公共トイレについてはまだまだ改善の余地があります。

公共トイレは都市のパブリックスペースの重要なエレメントのひとつであり、日常の生活空間として、あるいは街の賑わい創出の空間として活用するためには不可欠な施設です。さらに災害時の避難所や活動拠点となるところでは、緊急時に対応した備えが必要となります。

パブリックデザインとは「美しく、使いやすく、居心地の良い、安全で豊かな公共空間を実現すること」であり、このような視点から公共トイレのあり方をあらためて考えてみたいと思います。

なお本シンポジウムは、専門家のみならず広く一般の方々に、日本のトイレの現状と課題について理解を深めるとともに、よりよいトイレ環境づくりを考えていく機会とすることを目的としておりますので、トイレに関心のある方はどなたでも自由に参加できる会です。

3. 開催概要

○期日 平成28年11月12日（土）

○会場 日本大学理工学部1号館131教室
〒101-8308 東京都千代田区神田駿河台1-8-14
JR中央・総武線「御茶ノ水」駅 東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅 下車徒歩3分
東京メトロ丸の内線「御茶ノ水」駅 下車徒歩5分

○参加費 無料（ただし、資料代実費：2000円、交流会会費：4000円）

○主催 一般社団法人日本トイレ協会

共催 一般社団法人パブリックデザインコンソーシアム

○後援（申請中、順不同）

経済産業省、国土交通省、観光庁、東京都、日本科学未来館、（一社）日本建築学会、
（公社）日本建築家協会、（一社）日本医療福祉設備協会、都市環境デザイン会議、（一社）日本医療
福祉建築協会、（公社）国際観光施設協会、（一財）自然公園財団、（一社）日本福祉のまちづくり学会
NPO 法人地域交流センター、NPO 給排水設備研究会、全国管工事業協同組合連合会、（一社）日本能率協会
全国まちなちの駅連絡協議会

○協賛（昨年度実績、順不同）

TOTO株式会社、株式会社LIXIL、（一社）日本レストルーム工業会、日野興業株式会社、株式会
社総合サービス、日本カルミック株式会社、株式会社アメニティ、株式会社井戸屋、湘南ステーションビ
ル株式会社、櫻木神社、株式会社オーイケ、株式会社シミズオクト、柏書房株式会社、住友ベークライト
株式会社

○事務局 第32回全国トイレシンポジウム実行委員会事務局 山本耕平 石垣 歩
（株）ダイナックス都市環境研究所内 〒105-0003 東京都港区西新橋2-11-5 TKK 西新橋ビル
Tel 03-3580-8284 Fax 03-3580-8265 e-mail:sympo@toilet-kyoukai.jp

4. プログラム

【午前の部】

9:50 開会／挨拶：高橋志保彦 （一社）日本トイレ協会会長

10:00-10:40

●基調講演 「パブリックデザインと公共トイレ」

講師：天野光一 日本大学理工学部教授

プロフィール：開成高校－東京大学工学部土木工学科－同大学院工学系研究科土木工学専攻修士課程。建設省土木研究所道路部研究員、フランス都市・交通・住宅省都市交通研究所研究員、建設省道路局企画課課長補佐、東京工業大学工学部助手、日本大学理工学部専任講師、同助教授、東京大学大学院工学系研究科社会基盤工学専攻助教授、フィリピン大学客員教授（JICA 専門家）を経て2001年より現職。一般社団法人パブリックデザインコンソーシアム理事長

10:40-11:30

●特別講演 「東方見便録－トイレ文化から見たアジアとニッポン」

講師：斉藤政喜氏（紀行作家）

プロフィール：『シェルパ斎藤』のペンネームでアウトドア雑誌等に連載をもつ紀行作家。95年に八ヶ岳麓に移住し、自ら家をつくり、火を中心とした田舎暮らしを楽しむ。トレイルと名のつく日本のルートを最も多く歩いているバックパッカーであり、年に1度は海外のロングトレイルも歩いている。バックパッキング以外にも、自転車、オートバイ、ヒッチハイク、耕うん機による日本縦断など、自由奔放な旅を35年も継続しており、テント泊数は通算千回を超える。『東方見便録』『犬連れバックパーカー』『シェルパ斎藤の世界10大トレイル紀行』など著作は30冊を数える。

11:30-12:10

●研究発表・プレゼンテーションセッション（3題程度）

進行 白倉正子（アントイレプランナー）

12:10-12:30

●「グッドトイレ選奨」応募作品のプレゼンテーション

進行 村上八千世（アクトウェア研究所）

12:30-13:30 昼食・休憩

【午後の部】

13:30-15:30

●セッション：パブリックデザインとトイレ

ーパブリックスペースの積極的な活用とトイレのあり方

コーディネーター：高橋志保彦氏（都市デザイナー、（一社）日本トイレ協会会長）

報告と討論（各10～15分）

①グッドトイレ10・グッドトイレ選奨から見る公共トイレ改革の歩み

浅井佐知子氏（設計事務所ゴンドラ）

②奥多摩町の取り組み

山宮 淳也氏（東京都奥多摩町観光産業課観光商工係長）

③千代田区の取り組み

千賀 行氏（東京都千代田区道路公園課長）

④2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて東京のパブリックデザインとトイレ

※調整中（パブリックデザインコンソーシアムから登壇者依頼）

15:30-15:50 休憩

15:50-17:40

●特別セッション：災害とトイレ再考ー熊本地震を振り返って

コーディネーター：坂本菜子氏（コンフォートスタイリスト、＜一社＞日本トイレ協会副会長）

報告と討論（各10～15分）

①熊本地震のトイレ支援について

新妻普宣氏（(株)総合サービス代表取締役）

②仮設トイレのあり方 谷本亘氏（日野興業(株)営業企画部部長）

③車載トイレの可能性 八木正志氏（優成サービス(株)代表取締役）

④防災インフラとしてのマンホールトイレについて 山縣弘樹氏（国土交通省下水道部）

17:40-17:50

●総括、閉会

【交流懇親会】

18:00-19:30

1号館食堂

※グッドトイレ選奨の入選作発表

5. 関連イベント ・グッドトイレ選奨（会場内でのパネル展示と投票）
企業展示は会場の都合により中止いたします。



編集後記

ほんの少し前まで、地球の反対側から届く、鍛え上げた世界のアスリート達の活躍に気もそぞろでありました。今は打って変わって台風ゾロゾロと、突発的な大豪雨に辟易しております。皆様お住まいのエリアではいかがでしょうか。無事安泰をこい願うものであります。

さて、我が国はトイレ環境先進国といわれております。比較対象のものは、外国旅行の折の彼の地におけるトイレにまつわる苦労話であります。では先進というからにはあらゆる場所でそうだろうか？と振り返ってみますと、事態はまだ「あらゆる」の手前にあり、「人目のあるところ、飾らなければいけないところからその次へ」の取り組みはこれからであります。となれば、どうやって「美しく、使いやすく、居心地の良い、安全で豊かな」トイレ環境を備え広げていくか、皆様とともに考え、語りあいたいと存じます。誰にとっても放っては置けない気がかりテーマであります。お待ちしております。

(運営委員 赤堀時夫)

一般社団法人 日本トイレ協会

〒112-0003

JAPAN TOILET ASSOCIATION

東京都文京区春日1-5-3 春日タウンホーム1F～A

URL:<http://www.toilet-kyoukai.jp>

Tel/Fax 03-5884-6123

e-mail:jta-jimukyoku@toilet-kyoukai.jp